

二〇二〇年
第七十一回

全国書初大会

時・2月11日(祝)
所・池袋サンシャインシティ
文化会館4階展示ホール

運営総務

大野 幸子

冬晴れの中、第七十一回「全国書初大会」が池袋サンシャインシティ文化会館展示ホールにおいて、盛大に開催されました。今回は令和になって最初の大会。五ヶ月後には東京オリンピック・パラリンピックを控え、また新型コロナウイルスの先行きが不透明の中、例年とは少し違った緊張感も漂っております。

作品大会

全国から応募された作品の中から、左記の作品点数を、一月二十五日の審査会において選出し、会場に展示しました。

学生部 金賞以上 一、六五二点
一般部 特選以上 一八四点
師範部 秀作以上 一三九点
総務部 六二点

また、会場中央の壁面には、師範部の特別大賞の作品が展示され、来場者の関心を集めていました。

席書大会

例年通り午前と午後の二回に分け、実施されました。

大会委員長の目良丹崖代表より、緊張している揮毫者に励ましのお言葉がありました。続いて橋爪玉翠先生より支部長と揮毫者の紹介、揮毫指揮は加藤泰玉先生と大久

保樹心先生が交代でつとめられました。

揮毫者は一筆一筆に心を込めて作品を書き上げ、一斉にそれを掲げ、四方にいらした皆様にご覧いただき、会場より賞賛の大きな拍手を受けました。

揮毫者には表彰状と記念品が授与され、支部長には記念品が贈呈され、席書会は終





了しました。

授賞式

午後二時四十分、中村一誠先生の司会で開式。大会委員長日良丹崖代表よりお祝いの言葉、杉浦華桂審査長より審査経過の報告がありました。

続いて目良委員長より文化院賞代表者、小学部・澤田寧々さん、中学部・玉井典子さん、高校部・小林美優さん、一般部漢字・村上絵里子さん、一般的な・松本桃琴さん、師範部特別大賞受賞者代表、漢字部・松澤

苑彩さん、かな部・恵美翠蘭さん、また総務部代表賞のかな部・五井修水さんに賞状と賞品が授与されました。最後に受賞者を代表して華桂書道会・森井智子さんから心のこもった謝辞があり、式典は滞りなく終了しました。

抽選会その他

受付入口にて例年通り三角くじによる抽選会が実施され、当たった方の喜びの声にその場がなごんだりしていました。景品をご提供下さいました玉川堂様、一照堂様、ジョイ様には厚く御礼申し上げます。報道関係では「藤樹社」「書道芸術社」から取材がありました。

新設コーナー

みんなで大きな虹を完成させよう、というコンセプトのもと、「来場者参加コーナー」を新設。会場入口に揮毫の場を設けました。参加者は、十五cm角の色紙に筆で思いを託し



て書き上げ、入口左横の大きなボードに約五百枚を貼り、二つの虹を形成。自分の作品を指差し、記念撮影する姿を多く見かけました。参加者はもちろんのこと、観覧の方達からも大好評のうちに幕を閉じました。第七十一回全国書初大会は多くの皆様のご尽力とご協力により成功裏に終了することができました。感謝申し上げますとともにさらなる発展を祈念して報告いたします。

